



**「糸のこは、ミシンを
使っているよう」**
北村育佳記者 千曲市6年

小さい頃から大好きな組み木おもちゃが作れるなんて、夢のようでした。ずっと大切にできるものを作ると、1週間前から、わくわくしてデザインを考えました。

デザインの紙を木にはって、線に沿って糸のこで切りました。どンドン、思えがいた組み木おもちゃになっていき、うれしさと満足感で、とても充実した気持ちになりました。糸のこで木を切るのは、私の得意なミシンを使っているようで、とても楽しかったです。世界に一つだけの私の組み木おもちゃ。大人になっても、ずっと大切にしていきたいです。



**「大好きな木のおもちゃ作り
どきどき」**
北村未有記者 千曲市4年

木のおもちゃが大好きで、うれしくてどきどきしてしまいました。作る時に、大事なことが五つ、ありました。

①組み木だから、必ず2ひき以上にする ②かんたんな線に工夫する ③線を共有する ④考えること。頭、手、心を大切に ⑤その動物の特ちょうをいれる一です。

糸のこで木を切るのはむずかしかったけれど、なれてきたら、すごく楽しかったです。またやりたいです。



Special thanks to 吉池朋子先生!

「美術館が動物園のよう」
酒井栞杏記者 長野市6年

猛暑日(長野・37.7度)の7月26日に、組み木おもちゃの製作をしました。小黑先生の作品は、木の板を動物などの形に切り、飾ったり、遊んだりできます。パズルのように複雑な形もあり、家の中も、庭も、まるで美術館か動物園のようにステキでした。

七段のおひなさまは、製作に2~3カ月もかかるそうです。アイデアは、朝、ベッドから起きて頭に浮かぶとおっしゃっていました。蚊取り線香の形がもとになっている、蛇のおもちゃもありました。

私はキリンをつくりました。やすりで磨くと、つるつるして、きれいなキリンが出来ました。帰りの車の中で、母と「また来ようね」と約束しました。

行ってみてね!

小黑三郎組み木館 スートピア信州 (中野市笠原310)

開館日時
金・土・日曜日の午前10~午後4時

入館料
大人300円 小中学生100円

製作体験は所要時間30分~、
料金は材料費のみで630円~。

問い合わせは、
メール info@zootopia.jp
☎0269-22-6922
ホームページ http://zootopia.jp

しんまい図鑑

今回のしんまい図鑑では、信毎こども新聞を担当している編集局地域活動部の道具を紹介。信毎こどもスクール

や取材教室、大人向けの講演会などいろいろなイベントの運営もしているわたしたちの必需品はこちら!

道具箱

筆記用具、はさみ、マグネット、ばんそうこう、スクリーン用のポインター、USB、テープ、付せん、輪ゴム、朱肉…。イベントの時などに、何かなくて困った時はとりあえずこの道具箱を採します。必要なものはだいたい入っています。

たためる箱

行きは、資料や飲み物などお客さんに配るものを入れて、帰りは空っぽになるので折りたたみます。プラスチック製でじょうぶなので便利です。

のぼり

大きなイベントの時は、会場前にのぼり旗を立てます。土台になる部分に水を入れてたおれないようにして、棒を組み立てて…。慣れているスタッフは、簡単に組み立てます!

学研の図鑑 LIVE恐竜

信毎こども新聞「わくわく恐竜探検」の真鍋真さん(国立科学博物館地学研究所生命進化史研究グループ長)が監修を務めた、新しい図鑑を紹介します。

「学研の図鑑LIVE(ライブ)恐竜」です。最新の研究をもとにした、迫力ある恐竜のイラストがたくさん載っています。

さらに特徴の一つが、代表的な恐竜化石が実物大で載っているところ。本当の大きさが確認できます。

また、BBC(英国放送協会)の映像によるDVDが付いているほか、スマートフォンをかざすと動画が見られる、新聞でもおなじみの「AR」がこの図鑑にも付いています。

図鑑の紹介で真鍋さんは「わたしたちは、脳が小さくなった生き物、ヒト Homo sapiens(ホモ サピエンス)です。いろいろな生き物の生きる姿を見てみましょう。地球や宇宙のしくみについて考えてみましょう。そうしなければ、ヒトとして生きてきたのがもったいないではありませんか」と書いています。

刊行記念特別価格で2014年12月31日まで2000円(税別)、それ以降は2200円(同)。

本
回
と
び
ら